令和元年度補正　重点分野・テーマ別の販売促進活動報告書

令和2年3月1日

JA全農インターナショナル㈱

令和元年度　補正重点分野・テーマ別の販売促進活動について、記1の補正事業を活用して記2のとおり実施しましたので、報告いたします。

記1

令和元年補正輸出拡大が期待される分野・テーマ別の海外販路開拓等への支援強化事業のうち「重点分野・テーマ別の販売促進活動」

記2

対象国・地域　：　香港　（トマト）

実施期間　：　令和2年 2月23日（火）～3月1日（月）

香港販売促進活動

１．『香港　小売店舗　ＪＡ全農フェア』について

（1）期間　　：　令和2年2月23日（火）～3月1日（月）

（2）場所　　：　Apita

（3）出席者　：全農インターナショナル香港有限公司　アンソニー担当

（4）内容　　：日本産青果物が定番化している上記スーパーにおいて、プロモーションを実施した。現地ではフルーツトマト系の需要が高いが、日本産フルーツトマトの種類が豊富であることに関しては広く知られていない。そのため、様々な種類のトマトを集め、プロモーションを組むことによって、認知度を高める試みとした。

（5）販売青果物
フルーツトマト（愛知県産、熊本県産、宮崎県産、静岡県産）
※一部、商品にまつわるトマト・野菜飲料も陳列。

（6）着荷状況
すべての商品はほぼ良好であった

KAGOME

$32.8
$45.8

$32.8
$32.8
$32.8
$39.8

KUMAMOTO
KUMA
KUMAMOTO
KUMA

$32.8
JA日向

アメーラ ルビンズ
amela rubins
静岡高糖度車厘茄(每件)
3P AMELA RUBINS RED
$45.8
推薦品

２．所感

トマトは廉価な大陸産商品も多く、販売も苦戦する傾向にある。
今回、夏に引き続き、香港で人気の高いフルーツトマト中心に売り場を作った、
特に、今回は価格帯を現地産品にミートさせるために、バラ品を現地パッキングするなどして、コスト低減を図った。日本産は依然として高価であるものの、量目を少なくすることで消費者に求めやすい価格で提供することができたものと認識。

３．　今後の進め方

フルーツトマトについては、まだまだ伸びしろはあるものと認識している。
日本国内のフルーツトマト（様々な色）産地を探し回り、より香港国内量販店のスペ―スを確保していきたい。